



1区 菅野裕日子選手



2区 三浦有矢選手



3区 菅野茂則選手



4区 佐藤彰洋選手



5区 飯畑友貴選手



6区 大内匡泰選手



7区 杉岡響選手



8区 菅野拓真選手



9区 齋藤あおい選手



10区 大内龍太郎選手



11区 赤石澤歩美選手



12区 高橋大和選手



13区 高橋隆聖選手



14区 菅野翔選手



15区 佐藤万姫選手



16区 細杉睦輝選手



見えないタスキで結ばれた仲間。チームワークも走力もさらなる高みへ。次回大会への思いも語り合いました。

関わってくれたすべての人に感謝
 チームの顔を思い出して走り切った
 この悔しさを忘れずに強い選手になっていきたい
 同じ目的に向かって絆が深まった
 練習を頑張ってきた
 沿道からの応援のおかげで走り切れた
 楽しかった、来年も走りたい
 チームの皆さんとの出会いに感謝
 最後まで気力を出し切ることができた
 中学生選手の保護者の協力にも感謝
 サポートをして選手の思いを感じることができた
 応援している時も涙が出るくらいに感動した
 (解団式での言葉を一部抜粋)

- チームメンバー (敬称略)**
- 総監督 林英滋
 監督 / 4区 佐藤彰洋(南相馬消防署)
 コーチ 向井敏(いいたて希望の里学園)
 コーチ / 2区 三浦有矢(いいたて希望の里学園)
- 1区 菅野裕日子(飯館村役場)
 3区 菅野茂則(消防飯館分署)
 5区 飯畑友貴(消防飯館分署)
 6区 大内匡泰(菊池製作所)
 7区 杉岡響(いいたて希望の里学園7年)
 8区 菅野拓真(いいたて希望の里学園8年)
 9区 齋藤あおい(西袋中1年)
- 主将 / 10区 大内龍太郎(飯館村社会福祉協議会)
 11区 赤石澤歩美(飯館村役場)
 12区 高橋大和(福島明成高1年)
 13区 高橋隆聖(福島明成高1年)
 14区 菅野翔(福島明成高2年)
 15区 佐藤万姫(そらいろ動物病院)
 16区 細杉睦輝(工学院大3年)
- サポート 杉都珂瑛(いいたて希望の里学園9年)
 サポート 結城樹真(いいたて希望の里学園8年)
 サポート 渡辺凌駕(いいたて希望の里学園8年)
 サポート 杉岡佳朋(いいたて希望の里学園9年)
 サポート 根本奈於(いいたて希望の里学園)
 サポート 石川多見(飯館村役場)

思いをつないだ16区間の力走

「福島市に住んでいるけど毎年ここで応援しているの。村のタスキをつないでくれてありがとう。とうつて涙が出る」。県庁近くの沿道で応援していた村民の言葉です。飯館村チームの力走は、多くの人の心を動かします。福島陸連の三浦武彦理事長は本大会の総評の中で「避難者が多い中で毎年選手をそろえる飯館村のようなチームは出場することの意義を感じさせてくれる」と述べています。

仲間を信じ、支えや応援に感謝して懸命に走る姿は、本当に清々しく、人々に力を与えてくれます。二斉スタートとなつても見えないタスキが選手から選手へ引き継がれていくことを多くの人に感じていたのではなからうか。飯館村チームは今年も全区間を完走しました。

解団式で佐藤彰洋監督は「タイムを短縮できたことは、チームの頑張り。大成功な大会だった。次の世代が参加してくれることを感慨深く思う。明日から来年の大会に向けて練習を始めたい」とこのゴールがスタートでもあると語り、林英滋総監督は「選手は設定タイムを7分短縮してくれた。応援してくれた村民のおかげでもあると思う」と声援に感謝しました。

**総合成績 49位
記録 6時間25分20秒**

大内龍太郎主将 20年連続出場で表彰

職場の理解と配慮をいただき練習をしてきました。一緒に走ってくれる中高生にも感謝しています。20年間出場してこれたのは、監督や周りのチームメイトのおかげです。また村民の皆さんの応援のおかげだと思っています。今大会は、自分の子ども達も応援に来てくれました。走ることを通じてかけがえのない経験ができていると感じています。



初出場は中学3年生
写真は高校1年生時

震災による全村避難の中でも単独チームでの出場を諦めず関係者と共にチームづくりを支えてきました。後輩に走る楽しさ、駅伝の魅力も伝え続けています。